

交通安全対策

平成24年6月28日

国土交通省 関東地方整備局 甲府河川国道事務所
山梨県 県土整備部

目 次

1. 本日の議題	2
2. 委員会での検討状況	3
3. 追加候補箇所の選定について	6
4. パブコメ実施について	15
5. 参考資料	21

本日の議題

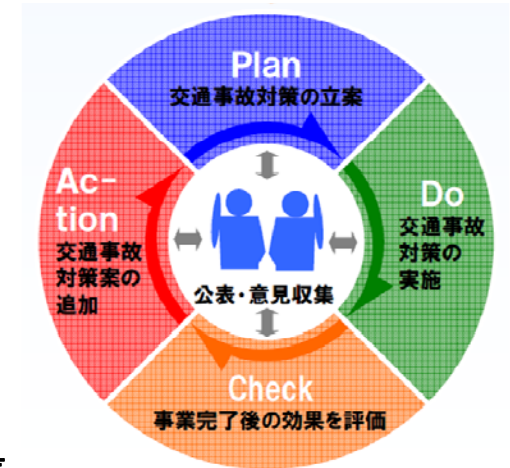
【本日の議題（交通安全対策）】

①追加候補箇所を選定について

交通安全対策事業においてはPDCAサイクルにより事業を実施中。選定箇所における各事業者の進捗状況や最近発生している歩行者事故などを踏まえ、新たに対策を行う箇所が必要と判断し追加候補箇所を選定することとした。

選定にあたっては、最新の事故データにより選定することとし、事業の進捗状況により未着手箇所においても最新の事故データにより対策優先箇所の見直しを行う。

本日の委員会ではその選定方法について意見を伺うものである。



②パブコメ実施について

パブリックコメントの実施においては事故データでは現れない潜在的な危険箇所を把握することを目的として前回も同様に行っている。今回は新たに事故データから選定した危険箇所について、利用者の実感から選定箇所の妥当性(改善ニーズ)や実際の危険状況等を把握する設問を追加。

実施にあたっては、回収率の改善を目的として実施方法や配布先の見直しを行う。

本日の委員会ではその実施方法について意見を伺うものである。

委員会での検討状況 ①

●第1回～第6回委員会（平成17年度～19年度）

＜事故対策優先箇所の選定と対策推進＞

第1回：データによる抽出指標の考え方に関する検討

第2回：データによる対策優先度箇所(案)の確認
パブリックコメントの実施方法の検討

パブリックコメントの実施

第3回：パブリックコメントの結果報告
事故対策優先箇所の選定(47箇所)

第4回：事故対策立案方針、対策検討結果の確認

第5回：対策進捗状況及び対策実施効果の検証(平成18年度時点)

第6回：対策進捗状況及び対策実施効果の検証(平成19年度時点)

●第7回～第9回委員会（平成22年度～23年度）

事故ゼロプランスタート

＜事故ゼロプランに基づく事故危険区間の抽出＞

第7回：事故対策優先箇所の対策進捗状況及び対策実施効果の検証
新たな箇所選定の実施方針の検討
パブリックコメントの実施方針の検討

パブリックコメントの実施

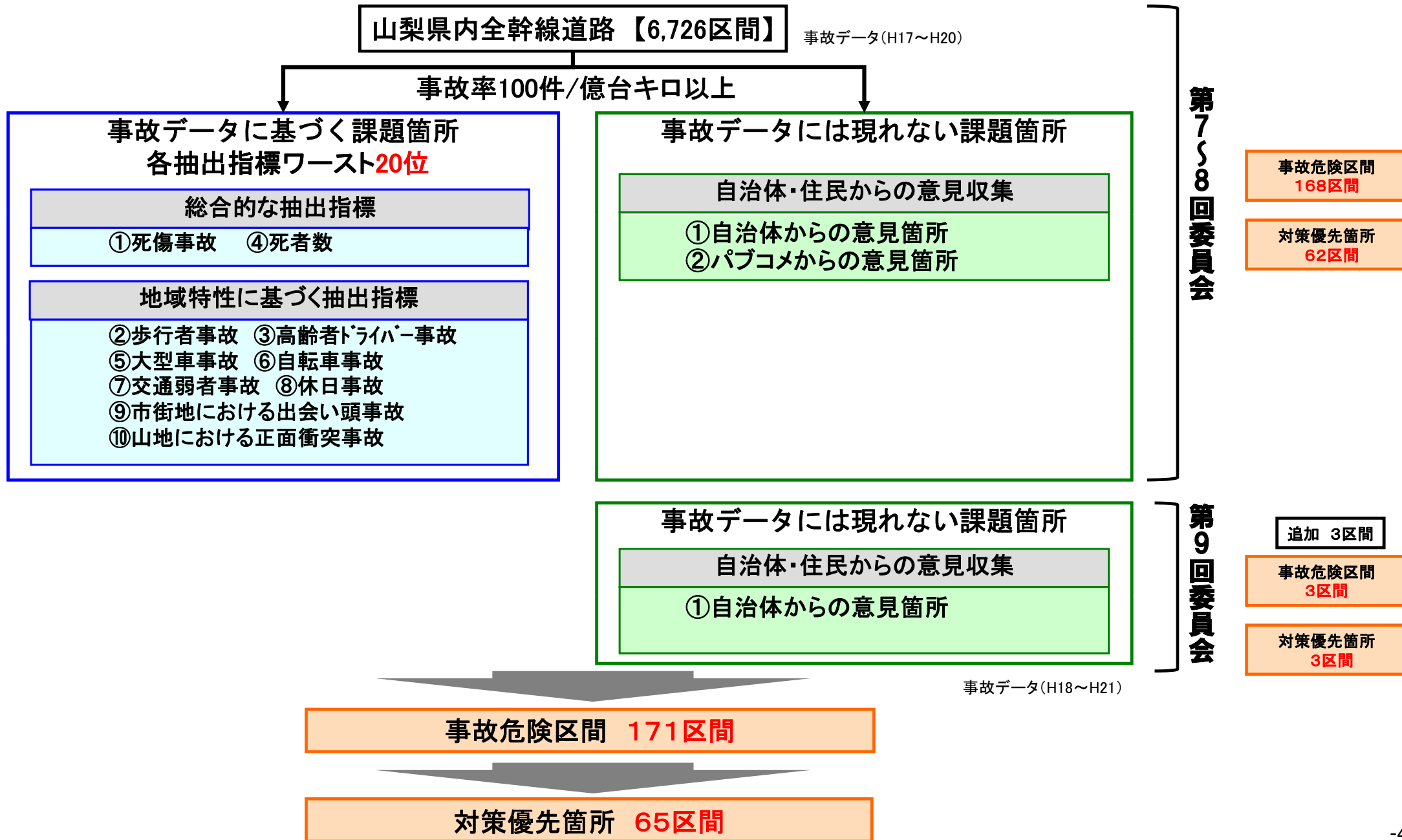
第8回：「事故データによる課題箇所」および「事故データに現れない課題箇所(パブコメ等)」の抽出
事故危険区間の選定(168区間、うち対策優先箇所62区間)

第9回：事故危険区間の対策実施状況の報告
事故危険区間の見直し方法及び新規追加箇所(3箇所)の確認



委員会での検討状況 ②

事故ゼロプランによる既存の課題箇所の抽出方法（第7～9回委員会）



委員会での検討状況 ③

平成
24
年度

○第10回委員会(2012年6月28日)※今回

【主な内容】

- ・ 新たな事故危険区間(追加箇所)の選定方法の確認
- ・ パブリックコメント実施方法の確認

ヒアリングの実施 (2012年7月上旬～8月中旬)

○第12回委員会(2012年8月～9月頃)※第11回委員会は議題予定なし

【主な内容(予定)】

- ・ パブリックコメント(アンケート)配付資料の確認

パブリックコメントの実施 (2012年9月下旬～11月中旬)

○第13回委員会(2012年12月中旬頃)

【主な内容(予定)】

- ・ パブリックコメントの結果報告
- ・ 新たな事故危険区間の追加箇所の確認

追加候補箇所の選定について ①

事故ゼロプラン推進における課題

最新の事故データの蓄積

事故ゼロプランのスタートから2年がたち、最新の事故データが蓄積。
交通事故は道路環境や沿道状況の変化により、発生状況の変化が起こりやすく、迅速な対応が必要。

⇒事故が急増した箇所など、対策が必要な箇所がないか確認を実施。

地域からの新たな要望

交通事故が多く発生していない箇所でも、地域の方が新たに危険を感じるようになった箇所に対して、対応が必要。

⇒警察や地域、自治体などから要望を把握。

交通事故状況の変化

登校児童が被害者になる事故が全国的に頻発。

<頻発する登校児童事故>

- 栃木・鹿沼クレーン車事故(H23.4)
- 京都・亀岡事故(H24.4)
- 千葉・館山事故(H24.4)
- 愛知・岡崎事故(H24.4)

⇒山梨県内の小学校からの要望を把握。

課題への対応

新たな事故危険区間の追加

最新の事故データの反映



A群: 事故データに基づく抽出

地域からの新たな要望への対応

交通事故状況の変化への対応



データでは現れない箇所の抽出

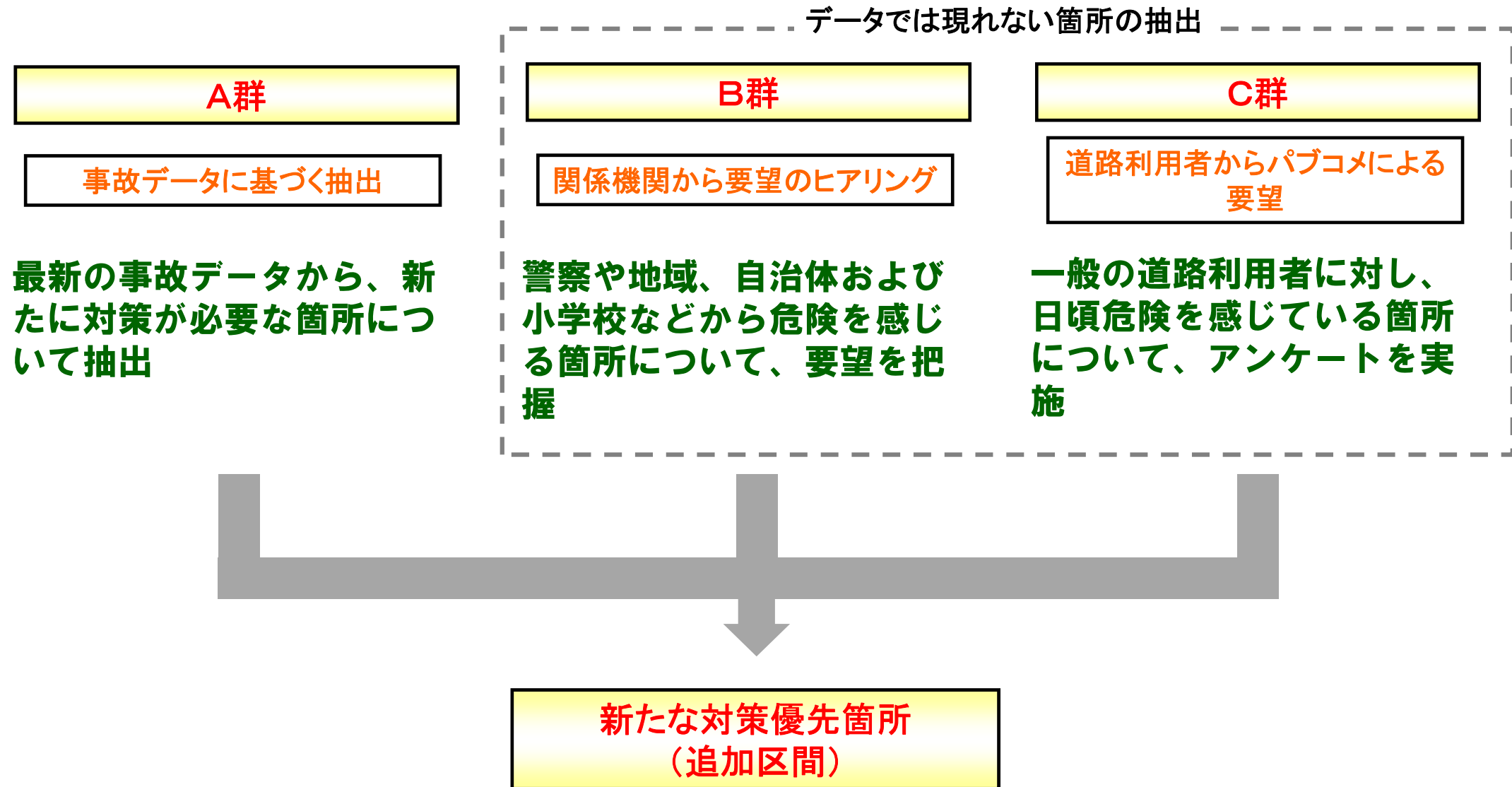
B群: 関係機関から要望のヒアリング

C群: 道路利用者からパブコメによる要望

**上記A群、B群、C群により
追加区間を選定**

追加候補箇所の選定について ②

追加区間の抽出フロー



追加候補箇所の選定について ③

追加候補箇所の位置付け

これまでの対策優先箇所（65区間）に加え、新たな対策優先箇所を追加し、引き続きPDCAサイクルにより対策の実施およびマネジメントを実施。

事故ゼロプランの推進

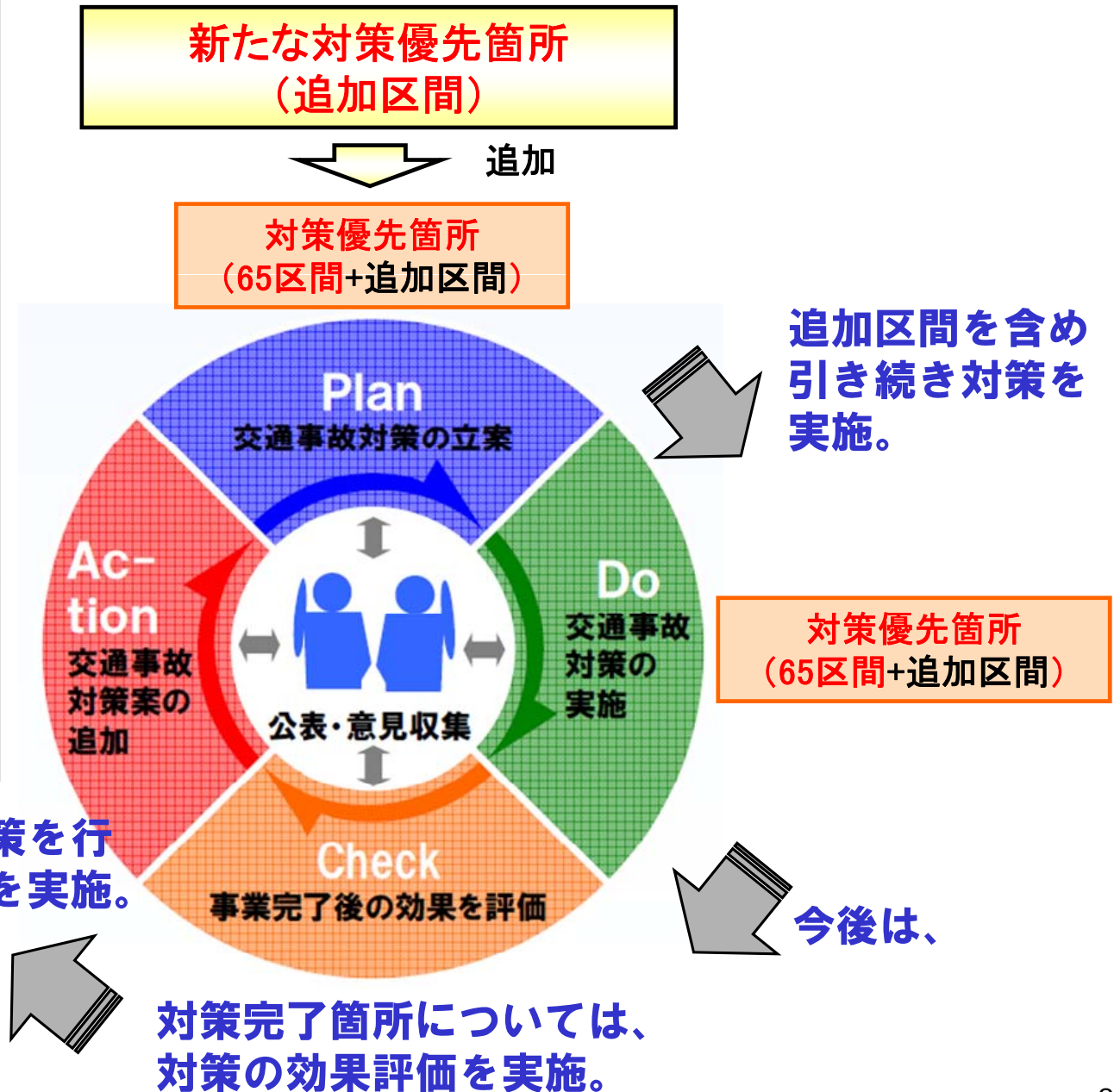
第9次山梨県交通安全計画策定における目標の達成に向け、事故ゼロプランの推進を図る。

第9次山梨県交通安全計画策定（H23.4）

計画最終年（H27年）における目標

- ①年間の交通事故死者数を35人未満（H22年死者数49人の約30%減）
- ②年間の交通事故件数を5,300件以下（H22年交通事故6,283件の約16%減）

必要に応じて追加対策を行うなど、新たな検討を実施。



追加候補箇所の選定について ④

A群の抽出指標

A群

①最新の事故データ(H19-H22)による抽出

◆最新事故データにて既存の抽出基準に該当する箇所

既存の抽出基準

●「事故危険区間」

- 死傷事故率100件/億台キロ以上、かつ地域特性に基づく指標、上位20位以内

●「対策優先箇所」

- 死傷事故率100件/億台キロ以上、かつ地域特性に基づく指標に3つ以上該当
- 死傷事故率100件/億台キロ以上、かつ地域特性に基づく指標、上位5位以内
- 死傷事故率100件/億台キロ以上、かつ事故データに現われない要望箇所

地域特性に基づく抽出指標

- | | |
|-------------|----------------|
| ①死傷事故 | ⑥自転車事故 |
| ②歩行者事故 | ⑦交通弱者事故 |
| ③高齢者ドライバー事故 | ⑧休日事故 |
| ④死者数 | ⑨市街地における出会い頭事故 |
| ⑤大型車事故 | ⑩山地における正面衝突事故 |

②死傷事故が多発する箇所

◆死傷事故率300件/億台キロ以上(H19-H22)の箇所(直轄国道)

死傷事故が多発する箇所(直轄国道)

●死傷事故が多発する箇所のうち、地域の骨格を形成する直轄国道について優先的に取り組む。

- 山梨県の幹線道路のうち、道路延長約1割の直轄国道に約3割の死傷事故が発生。

管理区分	死傷事故件数		道路延長	
	(件)	(%)	(km)	(%)
直轄	5,244	34.3%	256.1	11.9%
県	10,018	65.6%	1,749.7	81.1%
その他	15	0.1%	151.2	7.0%
全体	15,277	100.0%	2,157.0	100.0%

- 直轄国道と並行する県道等の交通量を比較すると、県道等に比べ直轄国道の交通量および大型車の割合は多く、直轄国道の幹線ネットワークとしての役割は大きい。

●国道20号
12時間交通量: 4,723
大型車混入率: 32.0%

●県道17号
12時間交通量: 2,075
大型車混入率: 8.6%

●国道52号
12時間交通量: 9,264
大型車混入率: 22.4%

●県道9号
12時間交通量: 2,977
大型車混入率: 10.4%

●国道20号
12時間交通量: 32,590
大型車混入率: 11.3%

●国道441号(県管理)
12時間交通量: 11,115
大型車混入率: 3.4%

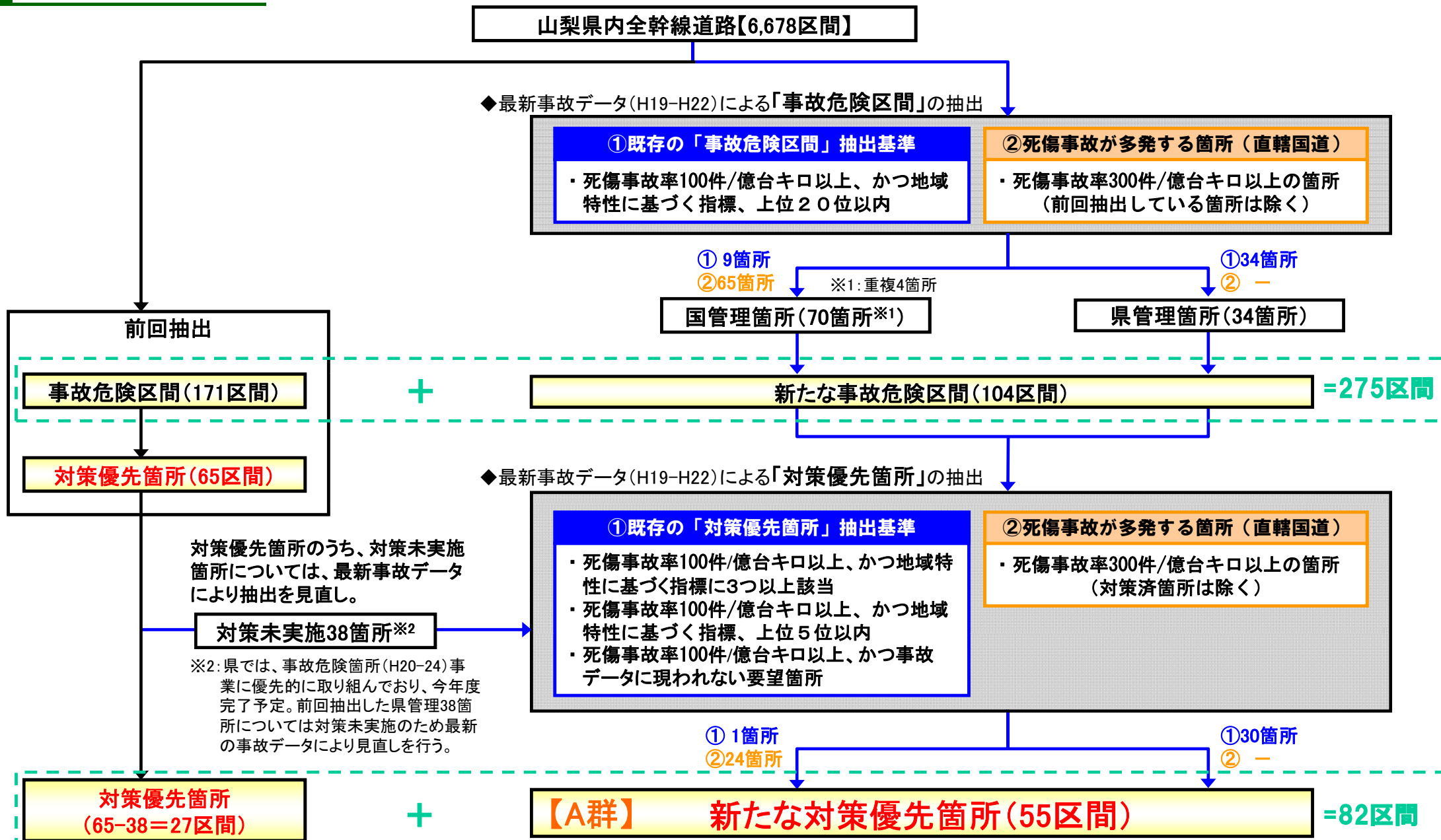
●国道20号
12時間交通量: 6,889
大型車混入率: 21.4%

●県道30号
12時間交通量: 1,779
大型車混入率: 6.6%

追加候補箇所の選定について ⑤

A群の抽出方法

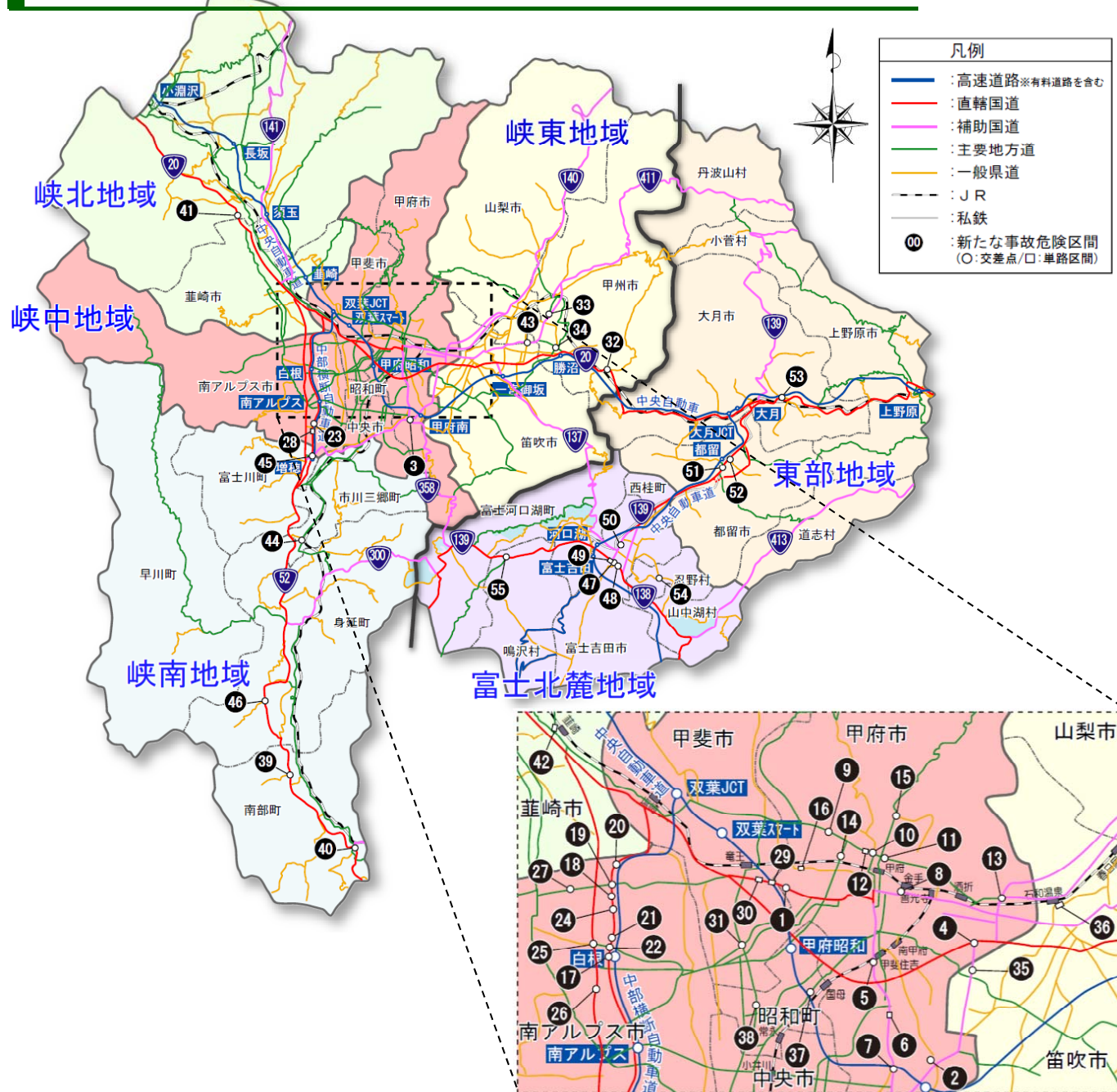
A群



追加候補箇所の選定について ⑥

A群の抽出結果（新たな対策優先箇所55区間）

A群



No.	管理者	市町村名	路線名	箇所名
1	国	甲府市	一般国道52号	貢川二丁目交差点
2	県	甲府市	一般国道140号	十郎橋西交差点
3	県	甲府市	一般国道140号	笹南中北1交差点
4	県	甲府市	一般国道140号	(仮)上阿原南交差点
5	県	甲府市	一般国道358号	橋東交差点
6	県	甲府市	一般国道358号	中町北Y字路
7	県	甲府市	一般国道358号	(仮)西下条町1316交差点
8	県	甲府市	一般国道411号	(仮)甲斐奈神社付近T字路
9	県	甲府市	甲府市街線	北部市民センター前交差点
10	県	甲府市	甲府市街線	朝日5交差点
11	県	甲府市	甲府市街線	宮前交差点
12	県	甲府市	甲府市街線	甲府市美咲1丁目
13	県	甲府市	甲府市街線	(仮)第一鯉沢橋東詰交差点
14	県	甲府市	甲府市街線	甲府工業高校西交差点
15	県	甲府市	甲府市街線	護国神社入口交差点
16	県	甲府市	中下条甲府線	(仮)長松寺町4-1交差点
17	国	南アルプス市	一般国道52号	南アルプス市在家塚(中部横断下)
18	国	南アルプス市	一般国道52号	百田保所東交差点
19	国	南アルプス市	一般国道52号	野牛島西交差点
20	国	南アルプス市	一般国道52号	湧泉の里西交差点
21	国	南アルプス市	一般国道52号	フルーツライン立体交差点
22	国	南アルプス市	一般国道52号	在家塚北交差点
23	国	南アルプス市	一般国道52号	市役所甲斐支所東交差点
24	国	南アルプス市	一般国道52号	南アルプス市上八田
25	国	南アルプス市	一般国道52号	飯野交差点
26	国	南アルプス市	一般国道52号	倉庫町北交差点
27	県	南アルプス市	甲斐芦安線	六科～源交差点間
28	県	南アルプス市	増穂若草線	(仮)セブンイレブン東南湖前
29	国	甲斐市	一般国道52号	甲府市貢川中央道下
30	国	甲斐市	一般国道52号	名取交差点西側単路
31	県	甲斐市	敷島田富線	玉幡小学校入口交差点
32	国	甲府市	一般国道20号	景徳院入口交差点
33	県	甲府市	一般国道411号	西広門交差点
34	県	甲府市	中道塩山線	上町交差点
35	県	笹吹市	一般国道140号	(仮)梅之木橋南交差点
36	県	笹吹市	一般国道411号	小林公園前交差点東側単路
37	県	昭和町	甲府市川三郷線	(仮)西条200～河西506区間
38	県	昭和町	敷島田富線	玉川団地入口～(仮)百一紙業前交差点間
39	国	南部町	一般国道52号	柳島交差点
40	国	南部町	一般国道52号	新万沢橋北詰交差点
41	国	北杜市	一般国道20号	宮脇交差点
42	県	斐崎市	斐崎昇仙峡線	(仮)斐崎西交差点
43	県	山梨市	市之蔵山梨線	(仮)矢作橋南交差点
44	県	市川三郷町	市川三郷身延線	岩間駅前交差点
45	国	富士川町	一般国道52号	坪川大橋南交差点
46	国	身延町	一般国道52号	大城入口交差点
47	国	富士吉田市	一般国道138号	富士浅間神社参道入口交差点
48	国	富士吉田市	一般国道138号	新屋交差点
49	国	富士吉田市	一般国道139号	富士吉田市上吉田6丁目
50	県	富士吉田市	一般国道139号	(仮)吉田高入口交差点
51	国	都留市	一般国道139号	中央一丁目交差点
52	国	都留市	一般国道139号	赤坂交差点
53	県	大月市	小和田猿橋線	(仮)下和田367交差点
54	県	忍野村	山中湖忍野富士吉田線	(仮)セルバ前交差点
55	国	鳴沢村	一般国道139号	ひばりが丘交差点

追加候補箇所の選定について ⑦

B群の抽出方法

B群

- 各関係機関より要望箇所のヒアリング、又はアンケートを行い、事故データからは現われない箇所を抽出。

「事故データからは現われない箇所の抽出」

ヒアリング、又はアンケート

1. 警察からの要望箇所(新規)
2. PTA・婦人会・小学校からの要望箇所(新規)
3. 関係自治体からの要望箇所

B群 ○○箇所

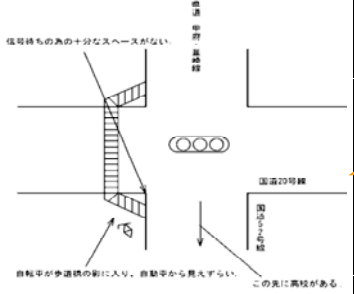
今後、順次ヒアリング、又はアンケートを実施し箇所を抽出

追加候補箇所の選定について ⑧

ヒアリング・アンケート様式（案）

B群

要望箇所における事故発生状況や考えられる対策について、下記様式(案)にてヒアリング

警察署名	〇〇警察署	所属	〇〇課	回答者 (連絡先)	山梨 太郎 Tel 055-123-0000
路線名	〇〇〇〇線		位置図 ※位置が分かる資料を別途添付でも可		
地点地番 (住所)	〇〇市〇〇1丁目1番1号 ～ 〇〇町〇〇〇234番地				
区間又は 交差点名	〇〇交差点 ～ (株) 〇〇〇〇より北へ〇m				
事故発生 概要	交差点内に横断歩道橋があるが、自転車が歩道橋の影にかくれ、車の運転手から見えづらいため、左折時に自転車を巻き込んだり、急停車による追突事故等の恐れがあり危険である。		事故発生 状況図		
地元要望 の状況 ※要望書を添付のこと	〇〇地区より、右折レーンの設置要望あり (H23.4)				
考えられ る対策	- 歩道の拡幅 国道下り側の歩道を拡幅し、歩行者のたまり空間を確保する - 右折レーン設置 国道から〇〇方面への右折レーンを設置することで、右折待ち車両への急ブレーキによる追突事故を防止する				
現地写真 ※箇所の全 景、危険な 状況、事故 要因や対策 に関わる箇 所の写真を 添付 ※別途添付 でも可					
その他					

※関連資料や写真がある場合、別途添付してください。様式は問いません。

箇所情報
・住所や位置図など

・事故の発生状況
・簡易の状況図
・地元要望の状況

など

考えられる対策について回答

現地状況を判断できる写真

追加候補箇所の選定について ⑨

C群の抽出方法

C群

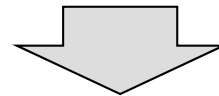
- 一般の道路利用者からのパブコメで指摘された箇所から、
事故データからは現われない箇所を抽出。

「事故データからは現われない箇所の抽出」

パブコメ

A群、B群**以外**の箇所に対する利用者の意識

A群、B群**以外**で危険性を感じる箇所



C群 ○○箇所

パブコメ実施について ①

パブリックコメント実施（案）の前回との比較

前回実施

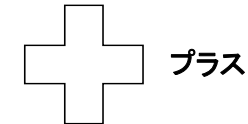
●「事故データからは現われない箇所の抽出」

事故データには現われない課題箇所について、一般の道路利用者から意見を収集し抽出

今回の実施（案）

●「事故データからは現われない箇所の抽出」

事故データには現われない課題箇所について、一般の道路利用者から意見を収集し抽出



● A群・B群に対する利用者意識の把握

事故データに基づく抽出箇所および関係機関からの要望箇所について、どのような意識を持っているか一般の道路利用者に対してアンケートを実施

利用者実感から抽出箇所の妥当性（改善ニーズ）や実際の危険状況等を把握

パブコメ実施について ②

前回の実施方法

事故データには現れない
交通安全課題箇所の把握

パンフレットアンケート

事務所HPアンケート



回答者数(有効回答) 82人

【課題】

- ・回答数の向上
⇒多様な主体、様々な人の視点の取込み
- ・危険箇所や事故ゼロプランの周知

前回の課題に対する今回の対応(案)

前回の課題

主に **パンフレットアンケート** であったため、回収数が少ない

事務所HPアンケート は回答用紙を印刷し、郵送を行わなければならないため、手続きが煩雑

ハガキアンケートが煩雑



PRが新聞広告のみ



今回の対応(案)

パンフレットアンケート  Webモニターアンケートの追加

インターネット上で回答できるよう改良

アンケートの簡素化

新聞広告と併せ、アンケート設置箇所においてPRポスターを掲示



パブコメ実施について ③

アンケート実施方法（案）

- 過年度実施のアンケート結果では、回答者数が不十分
- 今年度は、上記課題を解決するために複数の方法を併用して実施
- パンフレット形式の調査表として、危険箇所の周知と同時に事故ゼロプランをPR

方 法	実 施 内 容	特 徴
パンフレットの配布 （はがき回収）	山梨県内の国・県市町村の行政 窓口および道の駅への配布（設置 ）、ハガキによる返信	・インターネットを利用しない方を対象 ・設問・回答のボリュームに制限あり
Webモニターアンケート（新規）	山梨県在住のWebモニターを対 象としたインターネットアンケート	・短期間で多くの回答数の確保が可能 ・地域と回収数を指定した回収確保が可能 ・被験者属性（年齢）に偏りが生じる可能性あり
事務所HPアンケート	事務所HPを改良し、HP上から回 答可能	・事務所HPを利用し、広く一般利用者を対象
委員会委員を通じて 関連機関等へのパ ンフレットの配布 （はがき回収）	関連団体・協会等への配布、ハガ キによる返信 （プロドライバー、一般ドライバー、 その他道路利用者などの視点）	・被験者属性（年齢）の偏りに対する補強を行うことを目的 ・対象者を指定するため、配布アンケートに比べ高い回収率を期待

パブコメ実施について ④

アンケート内容（案）

＜基本方針＞

- ◆ 回収数を上げるため、設問数は多くせず、解答はできる限り簡易な選択式を採用
- ◆ 各調査方法から得られる回答を同様に集計するために、設問内容は共通化

道路利用者アンケート設問(案)

山梨県の道路に関するアンケート調査（〇〇エリア編）

【問1】事故危険区間について
図に示した追加候補〇〇箇所のうち、実際に走行または歩行して「あぶない」「ヒヤリ」など危険を感じた箇所があれば、区間の番号を記入してください。（複数回答可）

--	--	--	--	--

【問2】事故危険区間以外の区間について
図に示した追加候補〇〇箇所以外に、実際に走行または歩行して「危険だ」と感じた箇所があれば、具体的に記入してください。（自由回答）

記入例：例①-甲府市の国道〇号△交差点は、右折レーンがなく危ない。
例②-××高校の道と国道〇号の交差点の歩道が狭く危険。

【問3】交通安全対策に関する意見
その他、交通安全対策に関するご意見・ご要望等がございましたら、ご自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

位置図を見ながら回答

自由回答

自由回答

設問項目		設 問 内 容	分析の視点
1	選定された新たな事故危険区間（A群、B群）に対する道路利用者の危険意識	新たな事故危険区間について、交通事故の危険性が高く、対策が必要と思う箇所を選択	客観的データや地域要望により抽出された箇所に対し、利用者の意識（妥当性）を把握
2	新たな事故危険区間（A群、B群） 以外 の道路利用者の危険意識	新たな事故危険区間 以外 で、交通事故の危険性が高く、対策が必要と思う箇所を選択	交通事故データでは現れにくい危険箇所を把握
3	道路に関する道路利用者の自由意見	交通安全対策に関する意見	道路事業や事業PR、マネジメントサイクルの実践などに反映
4	回答者属性	年齢、性別、居住市町村、主な交通手段	属性による意識の違いを把握

パブコメ実施について ⑤

アンケート配布のエリア分け

一般の道路利用者にとって、県内に広く点在する危険区間について全てを回答対象するのは困難

そこで、

- 山梨県を2つのエリアに分け、エリア毎のパフレットを配布
- 居住、或いは勤務先など、熟知している地域が含まれるエリアについて回答してもらい、回答数や回答内容の精度を向上



峡北・峡中・峡南・峡東
エリア

46区間／55区間

東部・富士北麓エリア

9区間／55区間

平成22年国勢調査

エリア	地域名	人口
峡北・峡中・峡南・峡東	甲府市	198,992
	山梨市	36,832
	韮崎市	32,477
	南アルプス市	72,635
	北杜市	46,968
	甲斐市	73,807
	笛吹市	70,529
	甲州市	33,927
	中央市	31,322
	市川三郷町	17,111
	早川町	1,246
	昭和町	17,653
	身延町	14,462
	南部町	9,011
	富士川町	16,307
	小計	673,279
東部・富士北麓	富士吉田市	50,619
	都留市	33,588
	大月市	28,120
	上野原市	27,114
	道志村	1,919
	西桂町	4,541
	忍野村	8,635
	山中湖村	5,324
	鳴沢村	2,964
	富士河口湖町	25,471
	小菅村	816
	丹波山村	685
	小計	189,796
合 計		863,075

パブコメ実施について ⑥

アンケートのPR

<アンケートPR方法>

- 内容は分かりやすく簡潔に、またデザイン・見栄えを良くすることにより、広くPRを図れるものとする。
- アンケートの趣旨(交通事故の危険があるところを教えてもらう)やアンケート方法(HPでも回答できる)が一見して分かるような構成。

<新聞広告>

- アンケートの開始時期に合わせ新聞に広告掲載し、アンケートの実施をPR。

<PRポスター>

- アンケートを配布(設置)する道の駅・市町村役場等にポスターを掲示していただき、アンケートの実施をPR。

アンケートのPR・周知により、

- ・回答数の増加
- ・危険箇所の周知
- ・事故ゼロプランのPR

などを図る。

事故危険区間一覽

[illegible]

-22-

-23-